

総 社 市 水 道 事 業 の 概 要 及 び 経 理 の 状 況

【平成27年度上半期の状況】

本市の平成27年度上半期の給水量（有収水量）は、上水道と簡易水道を合わせて3,316,916 m³で前年度と比較して0.56%増加しています。また、給水件数は25,985件で1.1%増加しています。詳細につきましては、別表1 給水状況をご覧ください。

財政状況につきましては、別表2 損益計算書のとおり、税抜きで総収益7億6,746万8千円となっています。

一方、総費用につきましては、税抜きで4億6,749万円となっています。

今後の運営に当たりましては、より一層の経費節減と経営の合理化を図り、安定給水と健全経営に向けて努めてまいります。

【平成26年度決算概要】

平成26年度の水道事業の業務量のうち年度末給水件数は、22,679件（上水20,322件、簡水2,357件）で前年度末に比べ162件（0.72%）増加し、年間給水量は、6,595,054 m³（上水5,927,662 m³、簡水667,392 m³）で前年度に比べ67,378 m³（1.01%）減少しました。

建設改良の状況につきましては、水道事業では、合併創設第1次変更認可事業として岡山県広域水道企業団から受水を行うための小寺配水池の築造や進入路の整備、ブロック化配水に向けた配水本管の布設工事を実施しました。

簡易水道事業については、老朽管路の更新として石綿管の耐震管への改良工事を実施しました。

今後も、総社市水道ビジョンに基づいた事業を実施することにより、安全・安心・安定した水道水の供給に努めてまいります。

財政状況につきましては、水道事業の事業収益は、料金収入8億2,590万千円などの営業収益8億6,267万1千円、営業外収益1億3,595万4千円の合計9億9,862万5千円（税込額10億6,296万9千円）で、前年度に比べ1億287万3千円の増収となっています。これは、新会計基準の導入により長期前受金戻入が営業外収益として計上されることとなったことが主な要因です。事業費用は、営業費用7億4,299万1千円、営業外費用6,452万8千円、特別損失6,801万4千円の合計8億7,553万3千円（税込額9億2,165万8千円）で前年度に比べ750万6千円の増加となっています。

この結果、本年度は、1億2,309万2千円の当年度純利益が生じています。

簡易水道事業の事業収益は、料金収入9,230万4千円などの営業収益9,604万6千円、営業外収益2億5,365万2千円の合計3億4,969万8千円（税込額3億5,691万5千円）で、前年度に比べ8,123万4千円の増収となっています。これは、新会計基準の導入により長期前受金戻入が営業外収益として計上されることとなったことが主な要因です。事業費用は、営業費用2億2,312万7千円、営業外費用3,014万8千円、特別損失1,905万7千円の合計2億7,233万2千円（税込額2億8,220万4千円）で、前年度に比べ4,967万2千円の減少となっています。この結果、本年度は、7,736万6千円の当年度純利益が生じています。

今後においても、水道施設の計画的な整備と長期的展望にたった財政計画により経営の健全化に努めてまいります。

1. 給水状況 上半期(H27. 9. 30現在)

区分	上水道			簡易水道		
	平成27年度	平成26年度	増減	平成27年度	平成26年度	増減
給水件数(件)	23,242	22,994	248	2,743	2,699	44
給水人口(人)	57,310	56,634	676	7,392	7,246	146
配水量 (m ³)	3,338,962	3,310,035	28,927	381,820	375,973	5,847
給水量 (m ³)	2,980,145	2,965,462	14,683	336,771	332,842	3,929
有収率 (%)	89.3	89.6	△ 0.3	88.2	88.5	△ 0.3

2. 損益計算書 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(単位 千円)

項目	金額		
	上水道	簡易水道	合計
(1) 営業収益	436,306	47,898	484,204
(2) 営業外収益	65,104	218,160	283,264
(3) 特別利益	0	0	0
総収益 (1)+(2)+(3) A	501,410	266,058	767,468
(4) 営業費用	321,773	104,365	426,138
(5) 営業外費用	28,787	12,565	41,352
(6) 特別損失	0	0	0
総費用 (4)+(5)+(6) B	350,560	116,930	467,490
当期純利益(損失) A-B	150,850	149,128	299,978

3. 貸借対照表 (平成27年9月30日)

上水道

(単位 千円)

項 目	金 額	項 目	金 額
固 定 資 産	7,757,660	固 定 負 債	2,223,341
流 動 資 産	1,751,501	流 動 負 債	161,784
		繰 延 収 益	2,447,058
		負 債 合 計	4,832,183
		資 本 金	3,364,160
		剰 余 金	1,312,818
		資 本 合 計	4,676,978
資 産 合 計	9,509,161	負 債 資 本 合 計	9,509,161

簡易水道

(単位 千円)

項 目	金 額	項 目	金 額
固 定 資 産	3,307,543	固 定 負 債	1,145,125
流 動 資 産	741,480	流 動 負 債	39,058
		繰 延 収 益	2,141,388
		負 債 合 計	3,325,571
		資 本 金	433,666
		剰 余 金	289,786
		資 本 合 計	723,452
資 産 合 計	4,049,023	負 債 資 本 合 計	4,049,023

4. 平成26年度決算の概要

損益計算書(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位 千円)

項目	金額		
	上水道	簡易水道	合計
(1) 営業収益	862,671	96,046	958,717
(2) 営業外収益	135,954	253,652	389,606
(3) 特別利益	0	0	0
総収益 (1)+(2)+(3) A	998,625	349,698	1,348,323
(4) 営業費用	742,991	223,127	966,118
(5) 営業外費用	64,528	30,148	94,676
(6) 特別損失	68,014	19,057	87,071
総費用 (4)+(5)+(6) B	875,533	272,332	1,147,865
当年度純利益(損失) A-B	123,092	77,366	200,458

貸借対照表 (平成27年3月31日)

上水道

(単位 千円)

項目	金額	項目	金額
固定資産	7,958,779	固定負債	2,223,341
流動資産	1,705,929	流動負債	457,554
		繰延収益	2,457,684
		負債合計	5,138,579
		資本金	742,925
		剰余金	3,783,204
		資本合計	4,526,129
資産合計	9,664,708	負債資本合計	9,664,708

簡易水道

(単位 千円)

項 目	金 額	項 目	金 額
固 定 資 産	3,565,618	固 定 負 債	1,145,125
流 動 資 産	374,963	流 動 負 債	82,570
		繰 延 収 益	2,138,563
		負 債 合 計	3,366,258
		資 本 金	151,115
		剰 余 金	423,208
		資 本 合 計	574,323
資 産 合 計	3,940,581	負 債 資 本 合 計	3,940,581

企業債残高明細

上水道

(単位 千円)

借 入 先	平成25年度 末 残 高	平 成 2 6 年 度		平成26年度 末 残 高	償 還 終 期
		借入額	償還額		
財 務 省	1,291,597	0	93,807	1,197,790	平成52年3月
地 方 公 共 団 体 金 融 機 構	888,282	140,000	53,359	974,923	平成55年3月
吉備信用金庫	37,600	0	7,520	30,080	平成31年3月
中 国 銀 行	45,600	0	7,600	38,000	平成32年3月
ト マ ト 銀 行	20,860	0	20,860	0	平成27年3月
合 計	2,283,939	140,000	183,146	2,240,793	

簡易水道

(単位 千円)

借 入 先	平成25年度 末 残 高	平 成 2 6 年 度		平成26年度 末 残 高	償 還 終 期
		借入額	償還額		
財 務 省	787,844	0	44,072	743,772	平成50年3月
地 方 公 共 団 体 金 融 機 構	453,350	0	14,649	438,701	平成53年3月
合 計	1,297,638	0	58,721	1,182,473	

総社市工業用水道事業の 概要及び経理の状況

【平成27年度上半期の状況】

本市の平成27年度上半期の給水量（有収水量）は、92,214 m³で前年度と比較して1.4%減少しています。また、給水件数は昨年度と同様に19社に給水しています。詳細につきましては、別表1 給水状況をご覧ください。

財政状況につきましては、別表2 損益計算書のとおり、税抜きで総収益2,101万9千円となっています。

一方、総費用につきましては、税抜きで1,091万4千円となっています。

今後の運営に当たりましては、より一層の経費節減と経営の合理化を図り、安定給水と健全経営に向けて努めてまいります。

【平成26年度決算概要】

本市の工業用水道事業は、工業の振興と地域の発展に寄与することを目的として、昭和63年度に一部給水を開始し、本年度は19社に給水しています。給水量は、契約水量1日2,000m³（19社の合計）に対し、1日平均給水量518.5m³、1日1社平均給水量27.3m³で、年間の給水量は189,244m³となっています。

本年度の事業収益は3,912万2千円（税込額4,288万5千円）で前年度に比べ565万円の増収で、そのうち給水収益は3,298万7千円で、前年度に比べ12万7千円の減収となっています。事業費用は2,582万円（税込額2,618万2千円）で、前年度に比べ83万8千円の増加となっています。

この結果、本年度は1,330万1千円の当年度純利益が生じています。

事業運営に当たりましては、引き続き効率的な経営に努め、事業の安定化に努めたいと考えていますので、今後とも格別のご理解とご協力をお願いいたします。

1. 給水状況 上半期 (平成27年9月30日現在)

区分	平成27年度	平成26年度	増減
給水件数(件)	19	19	0
年間契約給水量(m ³)	732,000	730,000	2,000
配水量(m ³)	92,944	94,546	△ 1,602
給水量(m ³)	92,214	93,506	△ 1,292

2. 損益計算書 上半期 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(単位 千円)

項目	金額
(1) 営業収益	16,593
(2) 営業外収益	4,426
(3) 特別利益	0
総収益 (1)+(2)+(3) A	21,019
(4) 営業費用	10,694
(5) 営業外費用	220
(6) 特別損失	0
総費用 (4)+(5)+(6) B	10,914
当期純利益 A-B	10,105

3.貸借対照表 (平成27年9月30日)

工業用水道

(単位 千円)

項目	金額	項目	金額
固定資産	254,707	固定負債	51,023
流動資産	163,364	流動負債	3,667
		繰延収益	78,962
		負債合計	133,652
		資本金	185,431
		剰余金	98,988
		資本合計	284,419
資産合計	418,071	負債資本合計	418,071

4. 平成26年度決算の概要

損益計算書(平成26年4月1日～平成27年3月31日) (単位 千円)

項目	金額
(1) 営業収益	32,987
(2) 営業外収益	6,135
(3) 特別利益	0
総収益 (1)+(2)+(3) A	39,122
(4) 営業費用	24,643
(5) 営業外費用	547
(6) 特別損失	630
総費用 (4)+(5)+(6) B	25,820
当年度純利益 A-B	13,302

貸借対照表 (平成27年3月31日)

工業用水道

(単位 千円)

項目	金額	項目	金額
固定資産	260,673	固定負債	51,023
流動資産	180,184	流動負債	32,185
		繰延収益	83,336
		負債合計	166,544
		資本金	152,717
		剰余金	121,596
		資本合計	274,313
資産合計	440,857	負債資本合計	440,857

企業債残高明細 (平成27年3月31日現在)

工業用水道

(単位 千円)

借入先	平成25年度 末残高	平成26年度		平成26年度 末残高	償還終期
		借入額	償還額		
財務省	12,824	0	7,905	4,919	平成29年3月
公営企業金融公庫	0	40,000		40,000	平成42年3月
合計	12,824	40,000	7,905	44,919	